

詩篇 104 篇の瞑想から

## 新しくする

詩篇 104 篇 30 節

あなたが 御霊 רוּחַ ルーアツハを送られると、彼らは造られます。また、あなたは地の面を新しくされます。

この聖句は、文字だけを追うと、神の霊によって、オートマテカリーに（彼らは）造られ、新しくされる、と受け止めてしまいがちです。「主よ、あなたは素晴らしいお方。あなたによって私は新しくされました。感謝します。」という感じです。

ここで使われているヘブル語の単語を並べてみます。

アダマー	パーネー	ハーダーシュ	バーラー	ルーアツハ	シャーラハ	
אֲדָמָה	פְּנֵה	חָדָשׁ	וּ	בָרָא	רוּחַ	שָׁלַח
地、地表	表	新しくする		創造する、為す	風、霊	送り出す、遣わす

まず、**בָרָא רוּחַ שָׁלַח** だけに注目します。**בָרָא** バーラー には「ただ神の行為として創造する」という意味があります。**רוּחַ** ルーアツハ「風、霊」ですが、「霊」とは？ と考えてしまいました。私たちは簡単に「神の霊」「御霊」と言ってしまうのですが、

エペソ信徒への手紙 1 章 3 節

私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神はキリストにあって、天にあるすべての霊的祝福をもって私たちに祝福してくださいました。

この「天にあるすべての霊的祝福」を「神の霊」と受け止めるといいのではないかと、思います。それは「ただ神の行為として創造されたもの」なのです。そして「神は霊」という言い方もします。「神は天にあるすべての霊的祝福」です。

### 1. 御霊によって造られる

では、「あなたが 御霊を送られると、彼らは造られます」とは、どういうことでしょうか？ 端的に言うと「天にあるすべての霊的祝福」によって造られる、ということになりますね。

以下の有名な聖書箇所から考察してみたいと思います。

ヨハネの福音書3章1－8節

- 1 さて、パリサイ人の中にニコデモという人がいた。ユダヤ人の指導者であった。
- 2 この人が、夜、イエスのもとに来て言った。「先生。私たちは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神がともにおられるのでなければ、あなたがなされるこのようなしるしは、だれも行うことができません。」
- 3 イエスは答えて言われた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」
- 4 ニコデモは言った。「人は、老年になっていて、どのようにして生まれることができるのですか。もう一度、母の胎に入って生まれることができますでしょうか。」
- 5 イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。
- 6 肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です。
- 7 あなたがたは新しく生まれなければならない、とわたしが言ったことを不思議に思ってはなりません。
- 8 風はその思いのままに吹き、あなたはその音を聞くが、それがどこから来てどこへ行くかを知らない。御霊によって生まれる者もみな、そのとおりです。」

## 2. 風はその思いのままに吹く — 神のマスタープラン

まず、8節の「思いのままに吹く」とはどういうことなのか、ヘブル語から検証してみます。

思いのままに

ヘブル語 חָפֵץ ハーペーツ 欲する、気に入る、喜ぶ

名詞 חֶפְצִי ハーペツ 願い、望み、喜び、事柄、営み

風 רוּחַ ルーアツハ、つまり「神の霊」は神の望む事柄のままに吹きます。それは、神の喜びの営み、「作業」「勤め」と言えます。「神のマスタープラン」です。

「あなたはその音を聞くが」の「音」のヘブル語は קוֹל コール「声」という意味もあります。あなたは「霊の声」つまり、「神の声」を聞くけれど「それがどこから来てどこへ行くかを知らない」「知る」のヘブル語は יָדַע ヤーダー「悟る」という意味もあります。

あなたはその音を聞くが、それがどこから来てどこへ行くかを知らない とは、「聞いても悟らない者」ということです。

そうすると、「御霊によって生まれる者もみな、そのとおりです。」このみことばをどう受け止めたらいいいのか、わからなくなってしまいます。「そのとおりです」のヘブル語は、**כֵּן** ケーン 副詞で「そのとおり」、形容詞では「正しい、真実の」、男性名詞では「基、台座」という意味があります。

ここは、御霊によって生まれる者は、**真実であり正しい、神を知る知識の「基」**である、と理解するといいいのではないか、という気がします。

「御霊によって造られる」ということは、**真実であり正しい、神を知る知識の「基」**である、ということです。

そう受け止めると、9節以下の、ニコデモとイエシュアの会話もわかりやすくなってきます。

ヨハネの福音書3章9-13節

9節 ニコデモは答えて言った。「どうして、そのようなことがありうるのでしょうか。」

10節 イエスは答えて言われた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、こんなことが分からないのか。」

11節 まことに、まことに、あなたに告げます。わたしたちは、**知っていることを話し、見たことをあかししているのに、あなたがたは、わたしたちのあかしを受け入れません。 ☆ 聞いても悟らないのです**

12節 あなたがたは、わたしが地上のことを話したとき、信じないくらいなら、天上のことを話したとて、どうして信じるでしょう。

13節 だれも天に上った者はいません。しかし天から下った者はいます。すなわち人の子です。

ニコデモは聞いても悟らない者の象徴です。この「聞いても悟らない」ということが、「霊によって造られていない」者なのです。

### 3. 新しく生まれる —はじめからおられる方 イエシュア—

ヨハネの福音書3章3節

イエスは答えて言われた。「まことに、まことに、あなたに告げます。**人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。**

「新しく」のギリシャ語 **ἀνωθεν** アノーセン には「新しく」という意味はありません。上から、初めから、以前から、もう一度、という意味です。「上から生まれたもの」「初めからおられる方」が神の国を見る、ということです。「**人は**」のギリシャ語は、**τις** ティス 不定名詞で「ある人」と訳せます。この「ある人」は「イエシュア」と言えると思

います。ここは、イエシュアでなければ神の国を見ることはできません、と言っているのです。

#### 参考聖句

ヨハネの福音書1章18節 いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにおられるひとり子の神が、**神を説き明かされたのである。**

イエシュア以外に神を解き明かせるお方はいないのです。

## 4. 水と霊によって生まれる —イエシュアとして生まれる—

ヨハネの福音書3章5節  
イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、**水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることができません。**

「水と霊によって生まれる」—水は聖書では「真理」です。「霊」は「天にあるすべての霊的祝福」です。真理、つまり「天にあるすべての霊的祝福」によって生まれる、それは神を見たことのない私たちが、**父のふところにおられるひとり子、イエシュアとして生まれ、神を説き明かすようになる**ということなのです。

#### 参考聖句

ヨハネの福音書4章24節

**神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」**

ここも、**神は「天にあるすべての霊的祝福」**ですから、と理解するといいいと思います。礼拝は「天にあるすべての霊的祝福」がわからなければ「礼拝」にはならないのです。みことばを霊的に「**天にあるすべての霊的祝福**」として受け止めることが「礼拝」です。  
4節 ニコ、デモは言った。「人は、老年になっていて、どのようにして生まれることができるのですか。もう一度、母の胎に入って生まれることができますでしょうか。」このニコデモの姿は「イエシュアのことば、つまり、みことばを人間の思いで理解してしまった者」の姿と言えます。この姿のまま「主よ、主よ」と言っても「**霊とまこと**によって」礼拝したことにはなりません。

ですから、「**水と霊によって生まれる**」という表現はただ単に「バプテスマを受けた者」ということではなくて「みことばを霊的に理解する者」と言えます。「生まれる」のヘブル語は、**יָרַד** ヤーラド です。

この **יָרַד** ヤーラド の名詞形が **יָרֵד** イェレド 男の子、若者、みどりご、です。

#### 参考聖句

##### イザヤ書9章6節

ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。

「みどりご **יְהוֹשֻׁעַ** イエレド」は「水と霊」です —真理と言う霊—

「水と霊によってイエシュアとして生まれる」ということが「御霊によって造られる」ということです。ただ、イエシュアだけが、父のふところにおられ、神の国を見たのです。ですから「イエシュアとして生まれる」ということは「イエシュアのように神の国を見る者となる」ということです。神のみこころ、神の唯一の願いである「エデンの園の回復」につらなる者となるのです。

ニコデモの姿は私自身でした。クリスチャンになったから、神の霊が吹き込まれて新しく生まれたのだ、と勝手に思い込んでいました。ですが私は依然として肉によって生まれた者は肉、という姿のままだったのです。イエシュアとして生まれてはいませんでした。

「神の国に入る」ということは「天国に行くこと」と受け止めていました。クリスチャンが皆、「神の国に入る」ということではないようです。

「御霊によって造られる」ためには聖書、神のことばを霊的に理解して、限りなく正しく神を知ろうとしなければいけないと思います。

##### ヨハネの福音書4章23節

しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。

「霊とまことによって父を礼拝する」、ここも「イエシュアとして父を礼拝する」ということです。神はこのような人々を求めておられるのです。「求め」には「応じ」なければなりません。この「神の求め」に応ずる姿が「御霊によって造られる」者の姿なのだと信じます。

## 5. 新しくする —神の霊的祝福に没頭して生きる—

今度は、新しくする **חָדַשׁ** ハーダシュ に注目します。旧約聖書で10回使用されており、預言書では以下の2箇所で使用されています。

イザヤ書 6 1 章 4 節

彼らは昔の廃墟を建て直し、先の荒れ跡を復興し、廃墟の町々、代々の荒れ跡を一新する。

哀歌 5 章 2 1 節

【主】よ。あなたのみもとに帰らせてください。私たちは帰りたいのです。私たちの日を昔のように新しくしてください。

新しくなる、ということは、このアイデンティティに目覚めるということです。十字架によって罪が赦されて、軽々とした新しい人生を生きるということとは少し違います。何度もいますが、イエシュアとして生まれ、イエシュアのように神の国、「回復されたエデンの園」を見続けて生きるのです。

新しくする **שָׁנָה**

שָׁ (神) הָ (没頭する) נָ (霊的な歩み、生活)

☆霊的な生活とは、神の霊的祝福に没頭して生きること

また、**שָׁנָה** ハーダシュ の旧約聖書初出箇所は、

I サムエル記 1 1 章 1 4 節

それからサムエルは民に言った。「さあ、われわれはギルガルへ行って、そこで**王権を創設する**宣言をしよう。」

☆王権を一新しよう (口語訳) という宣言です。

詩篇 1 0 4 篇 2 9 節

あなたが御顔を隠されると、彼らはおじ惑い、彼らの息を取り去られると、彼らは死に、おのれのちに帰ります。

「主が御顔を隠される」「主が息を取り去られる」という表現は、神様が意地悪をしてそうなるということではなくて、「息」**רוּחַ** ルーアッハ 「天にあるすべての霊的祝福」と共に生きることの素晴らしさを詩にしている箇所です。

「あなたが御顔を隠される」のヘブル語 **סָתַר פָּנָי** サータル (隠す) パーネー (御顔)

**פָּנָי** パーネー (御顔) に注目します。女性名詞 **פָּנִים** パーニーム には「顔」の他に「恵み」という意味があります。詩篇 1 0 4 篇 3 0 節にも使われているヘブル語です。

## 地の面を新しくする אָדָמָה אֶרֶץ

地の恵みを新しくする—エデンの回復と理解することも可能ですし、  
地 אָדָמָה アダーマー は「人の心」を意味しますので、  
「人の心を（霊的に）新しくする」—「天にあるすべての霊的祝福に没頭させる」と受け止めてもいいと思います。

最終的に、ユダヤ人の宗教的エリート、ニコデモは「天にあるすべての霊的祝福」と共に生きる者となりました。ヨハネの福音書19章38節—40節にニコデモがアリマタヤのヨセフとともにイエシュアの埋葬に加わったことが書かれています。霊によって造られたのです。

ニコデモのストーリーは、私たちがイエシュアとともに埋葬されて（自分に死んで一人間的にみことばを理解することをやめて）イエシュアとして生まれなさい、ということを行っているように感じます。神が求めておられるのは、クリスチャン エリートではありません。「天にあるすべての霊的祝福」とともに生きる礼拝者です。

イエシュアのように完全に神をあかしすることはむずかしいと思いますが、

### 詩篇104篇34節

私の心の思いが神のみこころにかないますように。私自身は、【主】を喜びましょう。

「心」は聖書では「地」とも表現されます。例えば、主の祈り「御国がこの地に来ますように」という表現は「御国が私の心に来ますように」とも解釈できると思います。それは、「私の心の思いが神のみこころにかないますように」という祈りと同じ祈りです。「天にあるすべての霊的祝福」を喜ぶ礼拝者とならせてください、と祈ります。

アーメン